

# ペンション四季彩

宿泊業

紹介動画は  
こちらから



ペンション四季彩  
吉田 茂さん (70)

ペンション四季彩  
吉田 寛さん (40)

## 長年の夢を実現したペンションを 故郷の魅力を再発見した息子に承継

昔から「いつかペンション経営をしたい」と考えていた吉田茂さんは、1989年、郡上市にめいほうスキー場ができると聞き、近隣の別荘地を購入。40歳の時に会社を退職してフランス料理や経理を勉強し、接客を担当する奥様とともにペンション四季彩をスタートしました。

息子の寛さんは、大学を卒業して他県の企業に就職しましたが、地元を離れたことで故郷・郡上市の魅力の色濃く感じるようになり、2011年に帰郷してペンション運営を手伝い始めます。当初、茂さんは自分の代で廃業してもいいと考えていましたが、寛さんに承継の意志があることを知り、「それならば早く譲ろう」と70歳までの承継を考えるようになりました。

しかし、いざ着手しようとする手続きが複雑であることが分かり、以前から奥様が経理のノウハウを学ぶなど、さまざまな支援を受けていた郡上市商工会に相談。「専門家の支援を受けて、しっかりと手順を踏んだ方がいい」とアドバイスを受け、岐阜県事業承継・引継ぎ支援センターの支援を依頼することにしました。

### 会社概要



ペンション四季彩

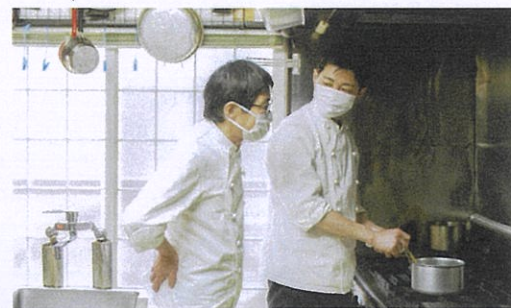
〒501-4304  
岐阜県郡上市明宝奥住3447-114  
TEL・FAX.0575-87-2980

設立 1993年11月  
従業員数 3名  
事業内容 ペンション経営、オリジナルどぶろくの開発・製造・販売

## 専門家の支援で課題や解決法が明確に 承継後はさらなる事業展開へ

面談した同センターのエリアコーディネーターは、まず専門家として中小企業診断士を派遣し、事業承継計画の作成を提案。中小企業診断士は、親子それぞれの思いや事業の現状を洗い出し、時系列で解決すべきことを見える化していきました。さらに、事業承継の課題である税金面をサポートするため、エリアコーディネーターは税理士を派遣。税理士のアドバイスから、吉田さんは現在の負債を計画的になくし、承継に進むのが最善だと考え、2024年の承継に向けた事業承継計画を完成させました。

また、寛さんは2019年にどぶろくの製造特区が郡上市全域に拡大したことを機に、醸造酒免許を取得し、オリジナルのどぶろく「水沢上ヶ池」の製造・販売を開始しており、承継後も新規事業として発展させたいという思いがありました。その点も、エリアコーディネーターは補助金などの支援施策活用を助言。寛さんは、「今後も郡上市商工会などと協力して、どぶろくを使った地域振興をしたい」と意欲を見せています。



今後計画に沿って承継を進める吉田さん親子



オリジナルどぶろく  
「水沢上ヶ池(みぞれがいけ)」

### 事業承継フロー



2020年  
70歳での承継を目指して、事業承継を考え始める。

2022年6月  
郡上市商工会に相談し、岐阜県事業承継・引継ぎ支援センターのエリアコーディネーターと面談。

2022年7月  
専門家派遣支援を受け、中小企業診断士による事業承継計画を作成。

2022年8月  
専門家派遣支援で税理士による指導を受ける。

2022年10月  
事業承継計画が完成し、2024年の事業承継を目指す。

## 【岐阜県事業承継・引継ぎ支援センターのサポートを受けて】



事業承継は届出を出さず済むと思っていましたが、知らずに不適切な手続きをすると、余分なお金も必要になる場合があると分かり、相談してよかったと思いました。



支援を受けて、今後行うべきことやスケジュールを整理することができました。自分たちだけで考えず、周りの専門家の協力を得ることが重要だと思います。

支援機関への相談は、ご家族が向き合って話すきっかけづくりにもなります。スムーズな事業承継に向けて、こうした支援制度をうまく活用していただきたいです。

エリアコーディネーター  
大橋 義史さん

事業承継はしっかりと計画を立てて、じっくりと取り組むことが大切です。後から後悔することがないように、早めの相談をおすすめします。

郡上市商工会  
中山 博子さん

事業承継計画では、それまで築いてきた「強み」を次世代へ引き継ぐために見える化し、「いつ・誰が・何をやるか」という具体的な作戦をお示しします。

専門家 中小企業診断士  
丸山 学さん